



広報誌 PLUS

第 2 号 発行日:令和 5 年 9 月 1 日

発行者 生活介護事業所プルスペース

～ 日々の支援の方向性 ～

当事業所を利用される方のこれまでの経緯は 1 人ひとり異なります。その中には活動内容の変更や利用者本人の行動の変化によって活動への参加が難しくなったり、自分や他者を傷つけてしまったりと、「活動」や「行動」の変化によって環境を変えざるを得ない方がいらっしゃいました。

これまでは支援員としての立場から強度行動障害を有する方々とのかかわりを持ってきましたが、生活介護事業所を開所して運営する立場になってみると、上記のような「事業所が提供する活動内容が本人の特性に合わない方」や「他害行為が激しい方」を受け入れるということが、その他の利用者の活動や安全を考える上でのリスクとなり得ることも理解できるようになりました。

生活介護事業所プルスペースでは、曜日ごとに活動内容を設定した 1 週間の日課をもとに活動しています。それは強度行動障害を有する方々の中には、「何もしない時間」や「何をしても良いのかわからない時間」に不適切な行動をとってしまう場面が多くあると考えているからです。

当事業所では企業から数種類の軽作業を受注しており、それらの作業内容を利用者の能力に応じた自助具を用いながら取り組んでいます。作業活動の時間は、支援員にとっても多くのかかわりや取り組みの媒体となります。「手指の清潔の保持」や「工程の理解」、検品時のちょっとした「待ち時間を過ごす」等、利用者の方と支援員間でのお互いの寄り添いと成長、配慮と自分をコントロールする力を高める場になり、そして頑張った分の工賃が「楽しみ」に繋がっていきます。

生産活動を通して社会と関わることができることへの感謝を忘れずに、安定した日課と活動の提供を行いながら、不適切な行動が表出しにくい環境を整えていくことが、より安心できる環境とより穏やかな日々につながるのだと信じ、日々の支援に努めて参ります。



健康診断への挑戦！



8 月 10 日に荒瀬病院さんのご協力のもと、健康診断を受けることができました。事前に利用者の行動特性を共有した上での受診でしたので、できるだけ待ち時間が短くなるような配慮や、支援員の付き添いにも快く対応して頂き、無事に全員が採血や胸部レントゲンを含めた全項目を受診することができました。

開所して 1 年も満たない私たちですが、この日までの支援と構築され始めた関係性を信じ、手順や診察項目を利用者それぞれに合った方法で提示して臨みました。受診後の利用者の「やり遂げた表情」と数年ぶりに採血ができたことと喜んで頂けたご家族の気持ちを大切にしていきたいと考えております。



有限会社 万葉堂
生活介護事業所プルスペース
〒861-4615
上益城郡甲佐町府領 867-1
TEL:070-8552-9289
<http://www.pluspace-kumamoto.com>